

# かわにし

議会だより

第118号

2014

7.15



## 夏は水浴び!

美女木げんき保育園 P4に関連記事

川西診療所前に

町営住宅建設工事着手 ..... 2

男女共同参画社会など2議員が町政をたずね ..... 6

政務活動費 全議員の用途を公開 ..... 13

小松保育所の新築決まる ..... 14

6月定例会の  
あらまし

6月定例会が6月6日から19日までの14日間の会期で開催されました。  
第1日目に、平成25年度繰越明許繰越計算書の報告、財政援助団体の経営状況3件の報告の後、4会計補正予算の専決処分を承認しました。請負契約1件を可決し、平成26年度3会計補正予算を一括上程し、予算特別委員会に、請願2件の審査を常任委員会に、それぞれ付託しました。

第4日目に、一般質問を行い2議員が男女共同参画社会や人口減少問題などを取り上げ、町政をただしました。  
第5日目を以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。  
最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した4議案を原案どおり可決しました。また請願3件を採択、意見書3件を可決し、閉会しました。

川西診療所前に

町営住宅建設工事着手

工事費1億3586万円



工場の安全を願い起工式が行われた

した配置とし、周辺施設との一体化を考慮した配置の3点である。  
また、周辺の環境にも配慮し、西側隣接地への圧迫感軽減、消雪施設による雪処理対策、落雪処理のための建物周辺スペースの確保を図っている。

指名競争入札により株式会社殖産工務所が受注した。請負契約額は消費税込み1億3586万4千円。工期は6月9日から11月14日までで、冬前までには入居できる。  
財源は事業費の45%を国の社会資本整備総

主な質疑

**問** 町内業者による物品納入、下請を促進すべきと思うがいかがか。  
**答** 下請計画書を提出する際に話し合いたい。

**問** 設計では労務単価が上昇しているが、賃金として支払われているか。  
**答** このたびの工事費の単価が高いのではないかと、一戸ごとに水周りがあるので高くなる。

**問** 町営住宅建設工事の工期は平成26年度3月までで、冬前までには入居できるか。  
**答** 6月9日から11月14日までで、冬前までには入居できる。

定例会第1日目に、町営住宅建設整備工事請負契約の締結議案が提案され、可決された。町では、安全で快適な公営住宅を長きにわたって確保するため、平成24年度から平成33年度までを期間とする「公営住宅等長寿命化計画」を立てた。

このたびその計画にのっとり、耐用年数30年を経過した平谷地住宅22戸を建替えることとし、社会資本整備総合交付金を活用して、第1期工事10戸分の建替えを実施するものである。

なお、第2期は残戸数の12戸と、将来需要を8戸分見込み、合わせて20戸分の建替えを計画している。

敷地は、公立置賜川西診療所前の、旧看護師宿舍跡地。

住宅の規模は、  
□木造平屋一部2階建（1階7戸、2階3戸）  
□床面積534・85㎡（1DK約13坪8戸、2DK約16坪2戸）  
設備は、バリアフリーとし、オール電化（IH）、バストイレに手すりを装備する。  
基本コンセプトは、高齢者に配慮した配置計画及び平面計画で、冬期間の雪・風に配慮



# 正算 補予

## 自治宝くじコミュニティ助成金の決定で『虫送り』祭具など1550万円

一般会計補正予算第2号（第1号は専決処分、9ページ）が全員賛成で可決された。主なものは次のページの表のとおりであるが、自治宝くじコミュニティ助成金の決定を受け、中小松

地区の伝統行事「虫送り」の祭具や犬川の新町公民館新築工事、各地区防災組織の備品などが予算化された。



町内には保存したい伝統行事がたくさんある

### 産業厚生 第2分科会

**産業振興課長** やまがた農業支援センターより業務の一部を受託し、農業委員会の協力を得て実施する。人・農地プランを基本としながら7月1日より借受け希望者を募集する。

**問** 「川西町地酒による乾杯を推進する条例」制定後の取り組みは。

**産業振興課長** 普及のためのポスターを作成する。また、商工会では盃を作る計画も進んでいる。

**覚** 町内外の各地域で活用するなど、地元酒で乾杯する習慣が広く浸透し、定着が図られる取り組みを企画されたい。



表紙の写真

#### 夏は水浴び！

6月25日美女木げんき保育園のプール開きが、晴天の下おこなわれました。

2歳児は元氣よくプールに飛び込み水しぶきを上げていました。1歳児は最初泣き出す子どももいましたが、先生の指導で恐る恐る水に入ることができました。0歳児はお兄さん、お姉さんをうらやましそうに見つめていました。

子どもたちの無邪気な笑顔と先生方の優しい指導をみてみると、ほほえましく感じられました。子どもたちの健やかな成長が川西町の宝です。

### 総務文教 第1分科会

**問** 夏まつり事業に照明費の補正を行う理由を問う。

**まちづくり課長** 実行委員会で検討した結果、今までの会場は砂ぼこりが立ち飲食に適さないこと、花火打ち上げ周辺に民家があり危ない

**問** 新小松保育所の整備計画を策定するにあたって、外部

**教育総務課長** 東北文教大学と置賜総合支庁から専門的な知識を持つ職員を推薦してもらい、助言や指導を受ける予定である。

### 繰越 明許

#### 繰越明許費

「繰越明許」とは、年度内に予定していた事業が終了せず、予算を次年度に繰越して事業を完成させること。議会の承認を必要とする。

### 平成26年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計（第2号）	97億1252万円 (5136万円の追加補正)	全員賛成により可決
介護保険特別会計（第1号）	17億4580万円 (981万円の追加補正)	全員賛成により可決

#### 水道事業会計(第1号)

企業会計	収入	支出	決議の内容
収益的収支	-	5億2588万円 (49万円の追加補正)	全員賛成により可決
資本的収支	8916万円 (1080万円の追加補正)	2億5054万円 (1080万円の追加補正)	

(注1)今年度より、収益的収支の収支均衡主義を廃し、より実際の予算方式を選択することとなった  
(注2)収支不足分は前年の減価償却費、除却費など実際の金銭支出がない「費用」を充てる

### 平成26年度補正予算(第2号)の主な事業

農地中間管理事業	302万円
置賜広域行政事務組合負担金(消防)	▲2529万円
コミュニティ助成事業補助金(※前ページ本文)	1550万円
戦略的園芸産地拡大支援(アスパラ・ダリア部会など)	487万円
水田農業活性化対策事業(田植機・コンバインなどの補助)	2485万円
山口沢川災害復旧	1000万円
水道事業会計への繰出し	1080万円

▲は減額を示す

前年度に完成しなかった事業(予算)を今年度の実施(繰越)するもので、議会の承認が必要となる。事務手続きのシステム導入、改修や施設整備に対する補助が主なもの。



牛舎整備で川西和牛の増頭を

#### 平成25年度から繰越した事業

事業内容	予算	完成予定
障害者支援法・児童福祉法改正でのシステム改修	589万1千円	26年10月末
小規模福祉施設(西大塚とこしえ)へのスプリンクラー	259万2千円	26年12月下旬
子ども子育て支援新制度システム導入費	409万9千円	27年3月下旬
牛舎整備に対する補助	1524万5千円	26年7月末
下平柳橋橋梁長寿命化工事	2600万円	26年12月下旬
合計	5382万7千円	

# 一般質問

## 町職員の女子管理職の登用をどうする

### 町長 — 能力を発揮する環境整備



淀 秀夫 議員

定例会4日目に、2人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

### 淀

国は男女雇用機会均等法に続き、男女共同参画社会基本法を制定し、女性の地位向上を図っている。

安倍内閣は3本の矢の一つに女性の活躍を上げ、去年、首相秘書官に初の女性を採用、また内閣人事局の要の内閣審議官に女性を用いた。

町では平成18年に男女共同参画計画を策定し、平成18年から始まった第4次総合計画

の中で、女性の社会参加機会拡大や働くための環境整備などの推進を図っている。

町長は、この推進の意欲が乏しく見受けられる。

### 町長

女性7名、男性5名で男女共同参画のまちづくり会議を設置。直接事業所を訪問し普及啓発などに努めている。

### 淀

町長が議員だった平成4年と11年の2回、男女共同参

画計画について一般質問をしているが、その情熱はどうなったのか。

### 町長

熱意は変わらなない。現在、町内で多くの女性団体が活躍し、女性がまちづくりに大きく貢献している。全町あげて一層の男女共同参画社会の形成に力を注ぎたい。

### 淀

世界の男女格差報告では、日本は105番目と先進国では最も低い状態だ。世界記録遺産「アン

ネの日記」に、ユダヤ人迫害に遭った13歳のアンネが「男性は女性より体力が勝り、女性に対する優越を誇り、

女性を愚かだと言っている。女性に同等の権利を与えるべき」と書き残している。

川西町の審議会などへの女性登用は18%と低い。町管理職12人は男性のみ。女性と男性の良さを生かし、格差をなくすため、新たな女性管理職の登用は。

川西町の審議会などへの女性登用は18%と低い。町管理職12人は男性のみ。女性と男性の良さを生かし、格差をなくすため、新たな女性管理職の登用は。

## 『川西町がなくなる』 人口対策は

### 町長 — 第5次総でより実効性のある施策に取り組む

### 橋本

以前から人口減少問題が取りざたされているが、特に最近では危機感を持って報道されている。

2040年には全国の市町村の半分が消滅する可能性があり、山形県の人口は3割減り、県内の自治体の8割で若年女性が半分になると推計されている。

川西町は出生率が1000人当たり6・4人で置賜では一番低く死亡率が16・3人と2番目に高い。全国多くの地域がこのような傾向にある。さまざまな施策を実施しても、結局若者世代の引っ張り合いで人口の移動だ

### 認知症対策は

### 橋本

初期の認知症は判定が難しく、対応も混乱するという専門的なケアが必要である。

認知症のはいかい者が全国で1万人を超え、数百人が死亡している。介護保険の改正で認定度者の対応が市町村の事業となり、在宅に追いやられる。

4月下旬の名古屋高裁では認知症のはいかいの夫の事故で、高齢の軽い認知症の妻に、夫の監督義務を怠ったという事で損害賠償判決があった。何とも非情でやり切れないこ

### 町長

職員の実績、意欲、能力、適性、希望などを考慮し、適材適所の配置に努めている。登用に性差は考えていないが、抜てきはなさない。

### 淀

戦後、日本国憲法は男女平等条項の下、女性に参政権を与えた。この憲法草

とである。家族だけで24時間見守るのは無理がある。認知症の対応は。

介護保険はずしの中での有効な、地域で見守る「認知症サポーター」活動があるが町内の実態は。

介護保険の改正で軽度者の介護が市町村事業に移行されてもこれまでと同様

のサービスを提供する予定である。

認知症に対しては民生委員、在宅介護センターを中心に、地域包括センターが家族、医師と調整し個々に対応している。

本町の認知症サポーターは現在422人で今後も養成を継続していく。



子どもの笑顔であふれる町づくりを



男女共同参画、相互理解のためのワークショップ

# 厳しい経営



ロビーも大改修で一新する

株式会社ダリヤパークサービスは、浴浴センター「まどか」の設置目的である「町民の保養」「健康増進」「地域間交流」を基本とし、さらに「公共的施設の使命感」を常に自覚しながら、それぞれの目的達成のため事業を行ってきた。

平成25年度は、東日本大震災後の「震災復興の影響」や原油価格の高騰・電気料金の値上げなど厳しい状況が続き、総利用者数は、前年度比で5356人

減少となる厳しい経営展開となった。

〈利用状況〉  
第19期の総利用者数は、7万3734人は、7万3734人の減、温泉利用者が7・1%の減、宴会利用者が1・2%の減、レストラン利用者が15%の減となった。

〈売上状況〉  
指定管理料や緊急雇用委託料などにより営業外収益は189万円増額したものの、売上高では、前年度比で475万円減少し今期は488万円の赤字決算となった。

今期は、10月後半から3月末までの約5か月間を全面休館とし「まどか」の大規模改修が行われる。長期の休業に対処するため本町行政と協議し、万全を期すとの報告があった。

一般会計1億7024万円

交付金決定などで減額

## 専決処分した平成25年度補正予算

項目	内容	補正額	総額
平成25年度川西町一般会計補正予算(第8号)	交付金の決定	▲1億7024万円	99億4619万円
平成25年度年度川西町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	事業の確定	▲6656万円	18億7603万円
平成25年度川西町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	事業の確定	▲1608万円	16億9828万円
平成25年度川西町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	事業の確定	▲144万円	1億6912万円

平成25年度の事業が完了したことにより、収支が確定したものに ついて専決処分案件が

提案され承認された。専決処分は3月31日付となる。  
全員賛成により承認

### 専決処分

専決処分とは、議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意思決定を行うことである。緊急性を要し、議会を招集する時間がない場合に限り行うことができる。専決処分を行った場合は、次の議会に報告し承認を得なければならぬ。ただし、承認されなくても処分に影響はないとされている。

## 広報モニターから ひとこと④ 犬川 梅津 眞理さん



広報モニターのお話があり、この町に暮らす者の一人としてお引き受けすることにいたしました。

議事の内容は、議会だよりなどで拝見しておりましたが、実際に

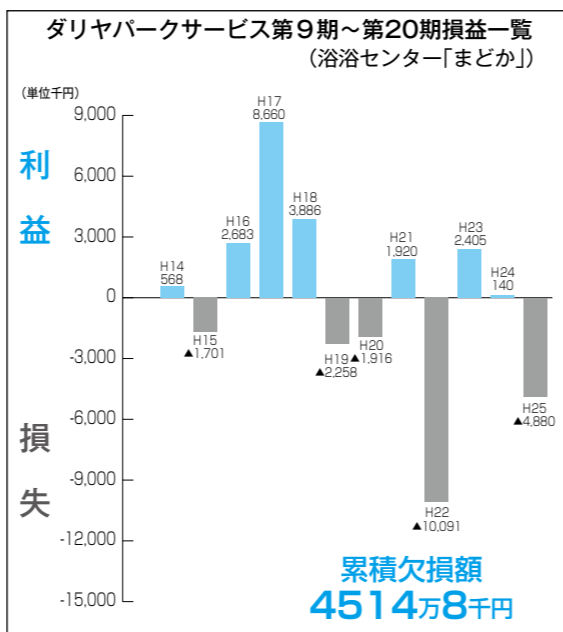
議場での傍聴は初めてでした。

町長、町当局と議員の皆さんが、それぞれの立場から、町の現状そして将来について真剣に審議していたことが良くわかりました。

町を取り巻く環境が年々厳しくなっているなか、限りある財源を用いてソフト・ハード面の施策を実施する町当局、それを町民の代表としてチェックし、さらに提案を行う議員のかたがたには信頼感を覚えました。

将来、この町に暮らすことになるであろうかたがたのためにも、よりよき川西町に導いていただくことを切にお願いいたします。

議会傍聴は私にとつて大変貴重な経験となりました。機会があればまた傍聴したいと考えております。



### 川西町土地開発公社

平成25年度は、駅東地区住宅団地造成用地2126万円の売却と尾長島工業団地の付帯用地の取得および企業誘致用地残区画の売却促進を行った。

平成26年度は、引き続き駅東の住宅団地造成用地の売却と尾長島工業団地の企業誘致用地残区画の売却促進を行うとの報告を受けた。

### 川西町体育振興公社

体育振興公社は、町営体育館をはじめ、周辺の人工芝ホッケー場や運動公園の維持管理を行うとともに、委託を受けた各種団体の事務局業務や年間さまざまな

まな各種スポーツ大会や町民の健康・体力づくりのための講座を企画し行ってきた。

公社の事業費総額は、25年度決算で4591万円である。



# 政務活動費 全議員の使途を公開

## 議員に交付する政務活動に要する経費

経費	内容
調査研究費	議員が行う町の事務、地方行政等に関する調査研究(視察を含む。)及び調査委託に要する経費
研修費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む。)に要する経費 2 団体などが開催する研修会(視察を含む。)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
広報・広聴費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会議費	1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資料購入費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事務所費	議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費
事務費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

「議会政務活動費の交付に関する条例」の規定により、議員に対して毎月1万円の政務活動費が交付されている。昨年5月に制定された「議会基本条例」第20条第2項に「使途報告書を提出するとともに町民に公開する。」と定めている。

このたび平成25年度の政務活動費について、各議員から提出された使途報告書に基づき、議会だよりに公開するものである。なお、使途報告書は、議会ホームページにおいて、閲覧できる。

議員名	支出							収入	
	調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情等活動費	資料作成費	資料購入費	事務所費	政務活動費	その他
齋藤 修一	78,555 <small>徳島県上勝町、香川県さぬき市地域農業活性化先進地視察</small>					39,360 <small>地方議会人、農業新聞購読料</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	19,915
高梨 勇吉			67,405 <small>議会活動報告、郵送料</small>			32,962 <small>書籍購入他</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	2,367
高橋 輝行		30,000 <small>4/19JR代金</small>				8,760 <small>地方議会人購読料</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	50,000	10,760
佐々木賢一	60,695 <small>京都府与謝町乾杯条例先進地視察</small>			33,937 <small>中央省庁研修・要望活動</small>		8,760 <small>地方議会人購読料</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	5,392
金子 一郎	60,695 <small>京都府与謝町乾杯条例先進地視察</small>			33,937 <small>中央省庁研修・要望活動</small>		8,760 <small>地方議会人購読料</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	5,392
高橋 忠	60,695 <small>京都府与謝町乾杯条例先進地視察</small>					8,760 <small>地方議会人購読料</small>	85,000 <small>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	34,455
島貫徳右工門	78,555 <small>徳島県上勝町、香川県さぬき市地域農業活性化先進地視察</small>					8,760 <small>地方議会人購読料</small>	50,350 <small>コピー、トナー他、町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	17,665
加藤 俊一				33,937 <small>中央省庁研修・要望活動</small>	24,750 <small>プリンター購入</small>	39,360 <small>地方議会人購読料他</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	47
淀 秀夫	102,980 <small>倉敷市行政視察他</small>					8,760 <small>地方議会人購読料</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	13,740
高橋 照夫						39,360 <small>地方議会人購読料他</small>	85,000 <small>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	4,360
黒澤 巖						101,930 <small>地方議会人購読料他</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	3,930
高橋 建一	78,555 <small>徳島県上勝町、香川県さぬき市地域農業活性化先進地視察</small>			33,937 <small>中央省庁研修・要望活動</small>		8,760 <small>地方議会人購読料</small>		120,000	1,252
斉藤 智志	16,808 <small>千葉県習志野市公共施設の再生計画視察</small>		7,160 <small>はがき、郵送料等</small>		8,614 <small>事務用品、プリンターインク、コピー用紙他</small>	67,710 <small>地方議会人購読料他</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	2,292
遠藤 章一	78,555 <small>徳島県上勝町、香川県さぬき市地域農業活性化先進地視察</small>					30,600 <small>農業新聞購読料</small>	22,000 <small>町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	11,155
橋本 欣一						32,180 <small>地方議会人購読料他</small>	88,099 <small>コピー、トナー他、町村議会議員団体保障制度加入金</small>	120,000	279

## 総務文教常任委員会

# きめ細かな複式学級の指導



学年別に前後に黒板があり、児童は背中あわせ

高山小学校の複式学級の授業と小松保育所の現況視察を行った。

小学校の学区見直しを検討される中、2学年が一緒のクラスで一人の先生に授業を受ける形態で、少人数ならではのきめ細かな指導であった。児童一人一人が大切にされている印象があり、先生方の工夫が生かされていた。築35年の小松保育所は増築改築で間に合わせる。

高山小学校の複式学級の授業と小松保育所の現況視察を行った。乳幼児の保育には不便となり、近年の保育ニーズに対応できないため建設計画が出されている。

実際に現場での視察により、さまざまな不具合と利便性を確認した。今後、新設に当たってはさまざまな施設との複合化を図るべきとの意見が出された。

# 産業厚生常任委員会 着々と進む基盤整備



「こうぞく地区」現地で大区画整備の説明を受けた

平成26年4月18日、経営体育成基盤整備事業「土地改良」の現地視察調査を行った。出席者は、事業の実施主体である山形県置賜総合支庁農村整備課長からの実施状況の説明を受けた。

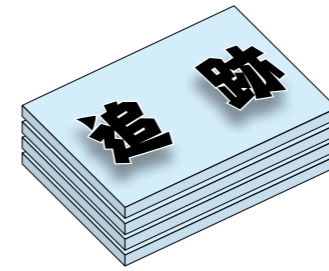
この事業は、平成22年から「犬川・こうぞく地区」を皮切りに始まり、その後23年から「中郡・高山地区」そして25年から「犬川・宮地地区」が実施され、現地調査を行った。また、「犬川・谷地地区」については、27年度事業の採択に向け町と議会が一体となり県に対して要望を行った。

意見交換の場では、現在行われている工事がスムーズに行われるよう受益者団体とのより綿密な連携を求めた。また、この事業は、稲作農業を中心としている本町にとって大変重要な事業であり、残す約2000haについても事業採択となるよう要望した。

# 小松保育所の新築決まる

## 各課横断のプロジェクトチーム発足

あれから……  
どうなった！



子どもは町の宝、保育所は子育て支援の拠点

小松保育所の新築が決まった。本年1月20日に議会から「待機児童の実質ゼロ化」が提言され、4月23日には総務文教常任委員会が現地視察を行っている。これを受けて4月24日には役場内に整備計画策定のためのプロジェクトチームが発足。いよいよ新小松保育所建設が始動した。進展が順調に行けば平成30年前後の着工と見込まれている。

小松保育所は築35年を経過し、老朽化が著しく全面改築が必要との声があがっていた。ここ数年は、年額数百万円単位の補修費用を要しており、県の監査において指摘を受けた事項の改善にもなかなか手が届いていない現状である。

さらに、近年0〜2歳児の乳幼児保育や延長保育を希望する保護者や家庭が増加し、平成25年度には待機児童が生じたため、議会で

### 新築するにも課題は山積み

は、その解消を求めるための「提言」を行った。もはや、部分的な改修を重ねる手法ではたちゆかなくなつたとの判断の論拠である。

新築するにも課題は決して少なくない。まず用地の選定と確保がある。施工期間は保育所はお休みという訳にはいかない。次に費用の問題がある。自治体の保育所設置には国の支援が受けられないという制度だ。その後の運営形態を含め大きな検討課題となる。

さらに、議会では、町有施設のある方全体をめぐって複合施設化の案も浮上している。各課横断のチームができた理由の一つである。

## 見学会 意見交換

犬川・吉島・玉庭・東沢  
皆さんのおいでをお待ちします



多くの皆さんに出席をいただき、開催された意見交換会(平成25年、大塚地区)

議会では、議会基本条例に基づいて、昨年より、意見交換会を開催することになっています。本年は、犬川、吉島、玉庭、東沢地区での開催となります。開催後、皆さんの意見を集約し、議員間での討議を経て、町当局に対し政策提言を行います。昨年は、施設の複合利用の推進や6次産業化の推進などの提言を行いました。(詳しくは、議会だより本年4月号に掲載) それに対して町長からは、第5次総合計画の課題とすることや現状の取り組みの回答がありました。

皆さんの声が直接生かせる意見交換会です。ぜひ生の声を聞かせください。日程は下記のとおりです。地区外の皆さんの参加も歓迎です。

### 意見交換会のご案内

開催期日	時間	場所
8月18日(月)	午後7時から9時まで	犬川(犬川地区交流センター)
8月19日(火)	午後7時から9時まで	吉島(吉島地区交流センター)
8月20日(水)	午後7時から9時まで	玉庭(玉庭地区交流センター)
8月20日(水)	午後7時から9時まで	東沢(東沢活性化センター)

テーマ：各会場とも①今後の町有施設のあり方②6次産業拠点施設の建設と活用

まちの未来が見える(6月定例会の傍聴者は1人)

# 議会傍聴においでください

次の定例会は9月

定例会本会議は  
NCV、インターネットでご覧になれます



# 町民の声

東沢地区にお住まいの佐藤ゆかりさんに子育てや町に望むことを聞きました。

## ❖ プロフィール ❖

さとう 佐藤ゆかり

米沢市出身 東沢在住。  
夫、小3と小1の男の子と夫の両親、祖母の7人家族、今年夏に第3子出産予定。

### 川西町に住んで思うこと

川西町に嫁いで9年になります。豊かな自然に恵まれ、季節を体でしっかりと感じられる環境の中で子どもたちを育てることができ、大変うれしく思います。特にこれからの時季は、じいちゃんやばあちゃんや畑で作ってくれる採れたての野菜を子どもたちがおいしそうに食べている姿を見ると川西町に住んでいて良かったなと思います。

### 地域との関わりを大切に

夏祭りや収穫感謝祭など、私の住む地域には、地域住民が一緒になつて楽しめる行事がたくさんあり、私自身もいつも楽しみにしています。できるだけ参加して、地域の皆さんとの関わりを大事にしていきたいと思っています。

### 子育て真っ最中

7人という大家族で、何かとじいちゃん、ばあちゃんや協力ののおかげで、安心して仕事をしながら子育てできることをありがたく思っています。子どもたちはいろいろな世代の考えを学び、吸収し、たくましく成長しています。

### 川西町に望むこと

川西町では子どもへの医療費無料化などの子育て支援制度が充実していることに大変満足しています。少子化で学校が統合していくと思いますが、子どもたちが安心して学校に通え、学べる教育環境づくりに期待しています。



いつも元気いっぱいの家庭です。

## 編集の後で

▼本町では、平成28年度から10年間の第5次総合計画がスタートする。この計画は、町民の皆さまにとって大変重要な基本計画である。▼町は、総合計画策定室を設置し計画策定に取りかかっている。▼重要なことはこの計画に、より多くの町民の皆さまの声を届けることにある。各地の意見交換会にその声を。

(智志)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 橋本 欣一
- 委員 島貫徳石 工門
- 同 黒澤 巖
- 同 齊藤 智志
- 同 遠藤 章一
- アドバイザー(文章) 大友喜味雄
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 鳴 源一
- 斎藤 史郎